

第3章 デジタル時計の制作

Web応用

第6回 日付の取得

第3章

デジタル時計の制作

第3章 学習目標

デジタル時計の制作方法について学びましょう。

時分秒の表示

今回は時分秒を表示する時計を作ります。

1. ファイルの準備

前章で学んだことを元に時間を取得するファイルを準備しましょう。ファイル名は sample6-3.html です。

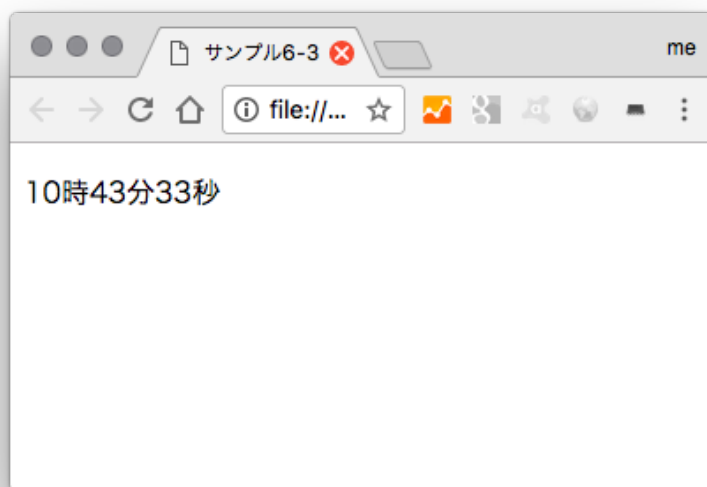
■ ソースコード

```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title>サンプル6-3</title>
6     <style>
7
8   </style>
9 </head>
10 <body>
11   <p id="date1"></p>
12
13   <script>
14     var date1 = document.getElementById("date1");
15     var now = new Date();
16     var h = now.getHours();
17     var i = now.getMinutes();
18     var s = now.getSeconds();
19     date1.innerHTML = h+"時"+i+"分"+s+"秒";
20   </script>
21 </body>
22 </html>

```

ページを開いた瞬間に時間が表示されます。ただ、時計として動いてはいません。



アニメーション

これを動かすために、まず、全体を関数化しましょう。

1. 関数化

関数の実行(clock1())と、関数の宣言(function clock1(){})を記述します。

■ ソースコード

```
13 <script>
14   var date1 = document.getElementById("date1");
15
16   clock1();
17   function clock1(){
18     var now = new Date();
19     var h = now.getHours();
20     var i = now.getMinutes();
21     var s = now.getSeconds();
22     date1.innerHTML = h+"時"+i+"分"+s+"秒";
23   }
24 </script>
```

2. 一定時間毎に動作するアニメーションにしましょう。

関数の実行の

■ ソースコード

```
16   clock1();
```

を次のように変更します。

■ ソースコード

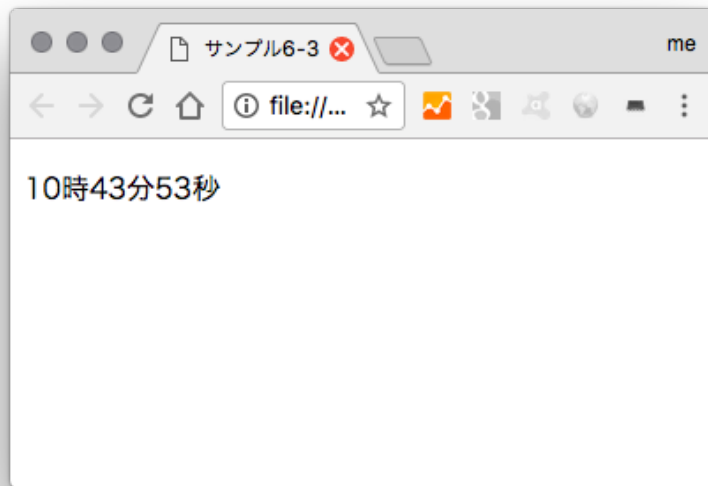
```
16   setInterval(clock1,1000);
```

解説：

setInterval(関数名,ミリ秒)は、一定時間毎（ここでは1000ミリ秒=1秒）に関数（clock1）を起動させる関数です。このとき、関数名に()は記述しないことになっています。

3. 確認

ファイルを保存し、ブラウザで確認してみましょう。（秒数が1秒ごとに切り替わっていれば成功です。）



CSSでスタイル

では、CSSで要素にスタイルを指定します。

1.CSSの適用

次のCSSをstyle要素内に記述しましょう。id「date1」のスタイルを指定することができます。

■ ソースコード

```
6 <style>
7   #date1{
8     margin:0 auto;
9     font-size:30px;
10    color:blue;
11    text-align:center;
12    font-weight:bold;
13    font-family:sans-serif;
14    border:1px solid gray;
15    width:400px;height:100px;
16    line-height:100px;
17  }
18 </style>
```



練習問題1

問題

【クイズ】 択一選択（即解答表示）

次のコードが関数「fnc()」を起動させる間隔はどれか。

setInterval(fnc,500);

- ☐ 500秒
- ☐ 500ミリ秒
- ☐ 500分
- ☐ 0.05秒

練習問題1の解説

setInterval()は、一定時間ごとに関数を起動します。記述は

setInterval(関数名,ミリ秒);

ですので、正解は **500ミリ秒 (0.5秒)** になります。

第3章 まとめ

デジタル時計の制作方法について学びました。

第3章 終わり

Web応用

第6回 日付の取得

第3章

デジタル時計の制作

おわり